公益財団法人 日本環境協会
エコマーク事務局

報道資料／Press Release

2026 年 11 月 5 日

「エコマークアワード 2026」受賞者決定
持続可能な社会実現に貢献する企業・商品が受賞

公益財団法人日本環境協会（所在地：東京都千代田区、理事長：新美　育文）は、2026 年度のエコマークアワード受賞者を決定しました。

企業・団体部門の最優秀賞はグローブライド株式会社が受賞。優秀賞には 3 社が選ばれました。
製品部門≪ベストプロダクト≫には、エレコム株式会社のモバイルバッテリーが選ばれました。エレコム株式会社は優秀賞との同時受賞となります。

エコマークアワード 2026 受賞団体/受賞タイトル、受賞商品/受賞企業

最優秀賞	**グローブライド株式会社** 漁業系プラスチックを活用した地域共創型サーキュラーエコノミーの実践
優秀賞	**エレコム株式会社** 「もしも」を「いつも」の安心に。 エレコムが挑む、地球と人を守る次世代パワーチャージ・エコシステム
優秀賞	**株式会社呉松** 持続可能なサーキュラーエコノミー創造に向けた環境資源循環ビジネスモデル 【コーヒーの搾りカス(廃棄物)×新配合・成型技術でのアップサイクルな人工木建材の製品化】
優秀賞	**株式会社ワークスタジオ** エコマークとともに広げる繊維資源循環の輪 ～PANECO®による廃棄衣類の価値創造～
ベストプロダクト	**ELECOM DE-C76-10000 シリーズ、EC-C45 シリーズ、DE-NJ76-10000 シリーズ** [認定番号：26 169 001] **ELECOM DE-C46L-10000 シリーズ、EC-C13L シリーズ** [認定番号：26 169 002] エレコム株式会社

エコマークアワード 2026 表彰について

表彰は、以下の日程で、エコマーク事務局が各受賞者を訪問し、それぞれ表彰を行います。
受賞者には賞状、トロフィが贈られます。

グローブライド株式会社（東京・東久留米市）	11 月 26 日（木）
エレコム株式会社（大阪・大阪市）	12 月 21 日（月）
株式会社呉松（富山・高岡市）	11 月 16 日（月）
株式会社ワークスタジオ（東京・新宿区）	11 月 11 日（水）

エコマークアワードとは

エコマークアワードは、日本環境協会が 2010 年度に創設した表彰制度です。
環境配慮商品の普及に関する優れた事例を広く公表するとともに、エコマーク商品のより一層の普及拡大を通じて、持続可能な社会の実現に寄与することを目的としています。
「最優秀賞」、「優秀賞」は、書類審査とプレゼンテーション審査により選考委員会にて決定。エコマークを通じて「消費者の環境を意識した商品選択、企業の環境改善努力による、持続可能な社会の形成」に大きく寄与する取り組みをした企業・団体等を表彰します。
「ベストプロダクト」は、2025 年度および 2026 年度に認定されたエコマーク商品の中から、選考委員会にて決定。特に環境性能や先進性、エコフレンドリーデザインなどが優れた製品・サービスを表彰します。

エコマークについて

国際標準化機構の規格 ISO14024 に基づく第三者認証制度で、日本で唯一のエコラベルです。
1989 年に創設され、公益財団法人日本環境協会が運営しています。
環境への負荷が少ないなど、環境保全に役立つと認められる製品やサービスにつけることにより、消費者が環境保全の面でより良い商品を選ぶ目印となります。商品の環境的側面に関する情報を広く社会に提供し、持続可能な社会の形成に向けて消費者ならびに事業者の行動を誘導していくことを目的としています。
2026 年 11 月時点で、認定商品数は約 58,224 点、認定取得企業は 1,439 社です。
「エコマーク」は、公益財団法人日本環境協会の登録商標です。

エコマーク事務局ウェブサイト：https://www.ecomark.jp/

＜本件・取材に関するお問い合わせ＞
公益財団法人日本環境協会 エコマーク事務局　事業推進課
E-mail: kouhou@ecomark.jp
Tel: 03-5829-6286
〒101-0032 東京都千代田区岩本町 1-10-5 TMM ビル 5F
URL: https://www.ecomark.jp/award/2026/

エコマークアワード 2026
ウェブページ

最優秀賞 受賞

グローブライド株式会社

漁業系プラスチックを活用した地域共創型サーキュラーエコノミーの実践

グローブライド株式会社は、兵庫県明石市の明石浦漁業協同組合との協働により、役目を終えた漁業系プラスチックを回収して高品質なクーラーボックスへリサイクルする「地域共創型資源循環モデル」を構築した。使用済みの漁網やプラスチックカゴなどの漁業資材を有効活用したいという漁協側の問題意識と、同社の環境配慮型ものづくり推進への思いが一致し、技術的な課題をクリアして製品化を実現。一過性の取り組みで終わらせず、この連携システムを他の地域へ拡張させるべく活動を進め、さらにほかの釣具製品への横展開を見据えている点など、循環の仕組みを地域と共に育てる理想的なビジネスモデルを提示した。エコマークの認定取得で満足することなく、生活者との対話を生み出す「共通言語」として極めて効果的にエコマークを活用していることも特筆すべき点である。自然と深く関わる事業を展開する企業であるからこそ、地域やユーザーとともに海の豊かさを守ろうとする意気込みが伝わった。





優秀賞 受賞

エレコム株式会社

「もしも」を「いつも」の安心に。
エレコムが挑む、地球と人を守る次世代パワーチャージ・エコシステム

エレコム株式会社は、モバイルバッテリーで初となるエコマーク認定を取得した。同社は、以前から気候変動対策や自然再生などの環境活動のほか、包装材への FSC 認証紙の使用や再生プラスチックの採用など、先進的な環境負荷低減を継続的に推進している。その上で、単に環境性能を高めるだけでなく、製品本体に二次元コードを表示することで「使用後の適切な廃棄・回収拠点情報」へユーザーが容易にアクセスできる仕組みを業界に先駆けて導入した。これにより、より高い精度での「設計製造から使用後の適切な回収・再資源化まで」の循環プロセスの実現を目指している。こうした一連の取り組みを、エコマークという第三者認証を活用してわかりやすく伝えている点も、本アワードの趣旨と見事に軌を一にする。認定取得をゴールではなくスタートとして、貴重な知見を業界全体へ共有・波及させたいという力強いコミットメントに、大いに期待したい。

優秀賞 受賞

株式会社呉松

持続可能なサーキュラーエコノミー創造に向けた環境資源循環ビジネスモデル
【コーヒーの搾りカス(廃棄物)×新配合・成型技術でのアップサイクルな人工木建材の製品化】

株式会社呉松は、廃棄物であるコーヒーの搾りかすやワインのぶどう搾りかす、ウイスキーの麦芽かすなどを、リサイクル樹脂と高比率で配合・成形する独自の優れた配合技術を確立。付加価値の高い「人工木建材」へとリサイクルする持続可能な地域環境資源循環ビジネスを実践し、サーキュラーエコノミーの新たな可能性を切り開いた点が高く評価された。木粉の代替として多様な廃棄有機物の特性を高い成型技術により見事にプラスに転化させた点に加え、ビジネスとしての継続性と地域資源の再利用を高い技術力で結びつけている。幼稚園や病院などの高い環境配慮と耐久性、バリアフリー性能が求められる公共事業の現場においても着実に社会的信頼を得ている。カフェや企業から出たコーヒーの搾りかすを、地域の障害者施設が回収・乾燥・廃棄処理を担い、人工木建材を生産するといった多様な主体との連携も注目すべき点である。





優秀賞 受賞

株式会社ワークスタジオ

エコマークとともに広げる繊維資源循環の輪～PANECO®による廃棄衣類の価値創造～

株式会社ワークスタジオは、深刻な衣類・繊維製品の廃棄問題に対し、廃棄繊維を都市に眠る資源である「都市森林」と捉え、この新しい思想のもと、リサイクルボード「PANECO® board S」を開発しエコマーク認定を取得した。繊維を廃棄物で終わらせず再び社会で使うという資源循環の新たな枠組みや、社会実装の例を具体的に提示した点が高く評価された。多種多様な繊維が混在する分別困難な回収衣類を、素材を問わず粉砕・成形する独創的なアプローチで実用化に成功。福祉施設や製造・加工パートナー、繊維商社などそれぞれの役割を担う主体を有機的に結びつけ、パートナーとして協働する持続的な循環型エコシステムを構築している。客観的な信頼の根拠としてエコマークを活用することで、「社会が選び、広げる素材」を目指しており、社会全体での取り組みを重視する同社の一貫した姿勢は、今後の展開にも大いに期待するものである。





ベストプロダクト 受賞

ELECOM DE-C76-10000 シリーズ、EC-C45 シリーズ、DE-NJ76-10000 シリーズ
[エコマーク認定番号：26 169 001]
ELECOM DE-C46L-10000 シリーズ、EC-C13L シリーズ
[エコマーク認定番号：26 169 002]
エレコム株式会社

エレコム株式会社のモバイルバッテリーは、社会的ニーズと安心・安全を高度に結びつけた製品として高い評価を得て、ベストプロダクトに選出された。近年、世界的にもモバイルバッテリーの安全性や発火リスクへの懸念が急激に高まる中、本製品は厳しい「環境配慮基準」と「高度な安全性」の双方を、エコマークという第三者基準によって客観的に保証した形で市場に送り出した点に、極めて大きな社会的意義がある。さらに、製品本体の二次元コードから、購入者が最寄りの回収拠点やリサイクル情報を確認できる案内を提供。適切な使用・廃棄方法の普及や社会課題の解決に大きく寄与している。本体への再生プラスチックの使用や包装への森林認証材使用、長寿命化など、環境に配慮した製品であることに留まらず、消費者の「日常の安全」と「非常時の安心」につながる本製品は、業界全体の安全・環境意識を高めるモデルケースであり、今後の市場を牽引するものである。